

大項目	中項目	小項目	備考
		skills training<SST>]	
		4 作業療法	
		5 作業所	
		6 授産所	
		7 就労支援	
	F 重症心身障害児のリハビリテーション	1 早期療育	
		2 特別支援教育	
		3 家族支援	
10 2次・3次救急患者の治療 約13%	A 救急医療システム	1 病院前救護	
		2 集中治療室	
	B 脳心肺蘇生	1 気道確保	気管(内)挿管、輪状甲状軟骨間膜切開、気管切開
		2 気道内異物除去	
		3 人工呼吸	
		4 心(臓)マッサージ<胸骨圧迫式、開胸>	
		5 除細動	
		6 自動体外式除細動器<AED>	
		7 致死的不整脈の治療	
		8 緊急ペーシング	
		9 静脈路確保	
		10 酸素療法	
		11 薬物療法	
		12 脳蘇生	
		13 血液浄化法	
		14 機械的循環補助<IABP、PCPS>	
	C 2次・3次救急に必要な処置	1 心嚢穿刺・ドレナージ	
		2 胸腔穿刺・ドレナージ	
		3 腹腔穿刺・ドレナージ	
		4 膀胱穿刺・ドレナージ	
		5 輸液、輸血	
		6 薬物療法	
		7 内視鏡的止血術	
		8 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	
		9 (カテーテル)塞栓術	
		10 消化管内圧減圧治療	イレウス管
	D ショックの治療	1 循環血液量減少性ショック	
		2 心原性ショック	
		3 血管原性ショック	
		4 閉塞性ショック	緊張性気胸、心タンポナーデ
	E 重症救急病態	1 急性呼吸不全、急性肺障害<ALI>、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
		2 急性心不全	
		3 急性腎不全	

大項目	中項目	小項目	備考
	F 外傷の治療・処置	4 急性肝不全	
		5 播種性血管内凝固<DIC>	
		6 多臓器不全<MOF>	
		1 創傷の治療・処置<洗浄、デブリドマン、止血、縫合、創閉鎖、皮膚欠損の処置、破傷風とガス壊疽の予防>	
		2 骨折・捻挫・脱臼の治療・処置	
		3 頭部外傷	
		4 顔面・頸部外傷	眼外傷
		5 胸部外傷	
		6 腹部外傷	
		7 骨盤・四肢外傷	
		8 脊椎・脊髄外傷	
		9 泌尿器・生殖器外傷	
		10 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	
	11 デグロービング損傷		
	12 高エネルギー外傷		
	13 多発外傷	部位別治療優先順位の判定	
	G 急性中毒の治療・処置	1 維持療法	
		2 胃・腸洗浄	
		3 強制利尿	
		4 血液浄化法	
		5 解毒・拮抗薬	
		6 高濃度酸素療法	
	H 熱傷の治療・処置	1 全身療法<輸液の公式、感染防止>	
		2 重症度判定	
		3 局所療法<減張切開、デブリドマン、局所療法剤、早期焼痂切除、植皮>	
		4 気道熱傷の治療	
		5 特殊部位の治療<顔面、手、外陰部>	
		6 合併症<急性腎不全、Curling 潰瘍、敗血症、栄養障害>	
		7 電撃・雷撃症の治療・処置	
		8 化学損傷の治療・処置	
	I 環境異常の治療	1 熱中症	
		2 偶発性低体温(症)	
		3 凍傷	
4 減圧症、酸素欠乏症、高山病			
5 急性放射線障害			
J 異物・溺水、刺咬症の治療・処置	1 異物		
	2 窒息、溺水		
	3 刺咬症		
K 産科的救急治療・処置	1 母体・新生児搬送		
	2 急速遂娩	帝王切開、鉗子、	

大項目	中項目	小項目	備考
			吸引分娩
		3 産科ショック	
		4 胎児機能不全 [non-reassuring fetal status<NRFS>]	
	L 新生児の救急治療・処置	1 新生児蘇生法	
		2 新生児集中治療室	
	M 乳児の救急治療・処置		
11 緩和医療 約6%	A 苦痛の緩和	1 癌性疼痛	
		2 疼痛のアセスメント	
		3 癌疼痛治療法<WHO 方式>	
		4 痛み以外の症状の緩和	
		5 緩和的外科治療	
		6 緩和的放射線治療	
		7 インターベンショナルラジオロジー [interventional radiology<IVR>]	
	B オピオイド	1 弱オピオイド	
		2 強オピオイド	
		3 オピオイドレセプター	
		4 タイトレーション	
		5 オピオイドローテーション	
		6 等鎮痛量	
		7 オピオイド関連障害	
		8 鎮痛補助薬	
	C ホスピス・緩和ケア	1 ホスピスケアの基準	
		2 QOL<quality of life>	
		3 全人的苦痛<トータルペイン>	
		4 スピリチュアルペイン	
		5 学際的チーム医療 <Interdisciplinary team care>	
		6 緩和ケア病棟<PCU>	
		7 緩和ケアチーム	
		8 在宅ホスピス・緩和ケア	
		9 悲嘆のケア<グリーフケア>、遺族ケア<ビリーブメントケア>	
12 その他の治療法 約4%	A 酸素療法(急性期、慢性期)	1 適応	
		2 合併症	CO ₂ ナルコーシス
		3 在宅酸素療法	
	B 高圧酸素療法	1 適応	
		2 合併症	
	C 人工換気	1 適応	
		2 補助呼吸	
		3 持続的気道陽圧法<CPAP>	
		4 間欠的陽圧換気<IPPV>	
		5 持続的陽圧換気<CPPV>	

大項目	中項目	小項目	備考
		6 間欠的強制換気<IMV>	
		7 高頻度換気<HFV>	
		8 非侵襲的人工換気<NIPPV>	
	D 呼吸理学療法	1 排痰法	
		2 呼吸訓練	
	E 物理療法	1 凍結療法	
		2 温熱療法	
		3 電気治療	
	F 光線療法	1 新生児黄疸に対する治療	
		2 PUVA 療法	
	G レーザー療法		
	H 体外衝撃波結石破碎術<ESWL>		
	I 電気けいれん療法		
	J 免疫療法	1 減感作療法	
		2 訓練療法	
		3 抗癌療法	
	K 生殖補助技術<ART>	1 体外受精-胚移植<IVF-ET>、顕微授精<ICSI>	
	M 精神療法	1 精神分析療法	
		2 自律訓練法	
		3 森田療法	
		4 行動療法	
5 認知行動療法			
6 心理教育<サイコエデュケーション>			
7 芸術療法			
8 遊戯療法			
9 家族療法			
10 集団療法			
11 カウンセリング			
N リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>		サイコオンコロジー	

